

私立短期大学図書館協議会 会報

【Bulletin of Junior College Library Association】

◆◆◆◆◆

※メールマガジンへのご意見・お問い合わせ

会報担当：前川和子 (maekwkz@gmail.com)

====<目次>=====

- 【1】会長挨拶 齊藤誠一（千葉経済大学短期大学部）
- 【2】2024年度全国定期総会開催報告
- 【3】事務局報告
- 【4】地区活動報告：北海道地区 東北地区 関東甲信越地区 東海・北陸地区
近畿地区 四国・中国地区（2020年度より休会） 九州地区
- 【5】私立短期大学図書館協議会の運営に対する改革提案プロジェクト 報告
- 【6】編集後記

【1】会長挨拶

齊藤誠一（千葉経済大学短期大学部）

加盟館の皆様には、日頃から私立短期大学図書館協議会（以下、「私短図協」という。）の活動にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

さて、次のようなことからお話をすることをお許しください。

短期大学を取り巻く状況は厳しさを増しています。学生募集を停止する短期大学も多く、四年制大学と併設している短期大学が四年制大学に吸収されるところも増えてきています。



日本の少子化の流れは留まるところを知らず、短期大学に限らず、私立大学全体の再編を加速させることを文部科学省は打ち出し、経営指導を強化し、改善のない大学は縮小や撤退を促すともいわれています。

私立短期大学にある図書館を母体とする私短図協もその影響をまともに受けています。2024（令和6）年度には、加盟館が100館を下回り、98館となりました。そして、この傾向は今後も続くと思われます。

特に以前から一人職場が多かった短期大学図書館は、人員削減によってその傾向が強まり、自館運営以外のことに関係することが難しいという図書館も多くなってきています。

ただ、厳しい状況だからこそ、短期大学図書館が相互に連携して助け合うことが必要なのではないでしょうか。もともと短期大学は、地域に根差し、地域の即戦力となる人材の育成に努めてきました。そのことに短期大学図書館も寄与してきました。このように厳しい状況だからこそ、私短図協が創設以来掲げてきた【目的】に立ち返り、その存在意義を再確認する必要があると思います。

私短図協規約の【目的】では、「本会は、私立短期大学図書館相互の連絡および研究にあたり、図書館の発展向上を図ることによって私立短期大学の使命達成に寄与することを目的とする」であり、

“私立短期大学の使命達成に寄与する”ことを目的としています。そして、活動の中には、「図書館サービスの業務の効率化および業務の省力のために情報交換を行う」ことも含まれています。

このことを踏まえ、2024（令和6）年度には、先の【目的】を維持するため「私立短期大学図書館の運営に対する改革提案プロジェクト」を立ち上げ、今後への対応を協議してきました。2025年度にこの改革案を提起し加盟館のコンセンサスを得て、2026年度から具体的な改革に入る予定です。

繰り返しになりますが、短期大学が厳しい状況にあるからこそ、相互に連携を図り、図書館が孤立しないようにしたいと思います。そして、この改革を実現するためには、図書館相互の協力が不可欠です。今後とも加盟館の皆様のご協力をお願いいたします。

+++++

【2】2024年度 全国定期総会開催報告

日時：2024年5月17日（金） 13:00～17:00

場所：株式会社内田洋行 新川本社

出席：12館（21名） 委任状 74館 合計 86館

司会：林 浩次（元聖徳大学川並弘昭記念図書館）

記録：高野 聡（新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部図書館）

配付資料：全国総会議案書、私立短期大学図書館協議会規約

総会の成立確認

- ・司会より協議会規約第11条に基づき、総会が成立したことが報告された。



会長挨拶

齊藤誠一会長より挨拶があった。

議長の選出

議長に河野洋子氏（香蘭女子短期大学図書館）が指名された。

記録人の指名・紹介

議長より、記録人として高野聡氏が指名された。

議題1. 2023（令和5）年度事業報告

本部事務局の林浩次氏より、総会議案書に基づいて報告があった。

1) 会勢 102館（2024年3月31日現在）

北海道地区 7館、東北地区 13館、関東甲信越地区 42館、東海・北陸地区 10館、近畿地区 11館、中国・四国地区 2館（休会）、九州地区 17館

入会館 なし

退会館 5館

- 【関東甲信越地区】2 館
淑徳大学附属図書館東京図書館
星美学園短期大学図書館
【近畿地区】1 館
京都文教短期大学図書館
【九州地区】2 館
鹿児島純心女子短期大学図書館
九州龍谷短期大学図書館

入会 賛助会員(個人) 林浩次氏
退会 賛助会員(個人) 吉岡肖治氏

2) 全国理事会(出席 16 名)

日時: 2023 年 5 月 11 日(木) 14:00~17:00

・2022 年度本部・地区の事業報告および 2023 年度総会議案を検討した。

3) 全国定期総会(会員館 102 館中 14 館参加、委任状 59 館、29 館未提出)

日時: 2023 年 5 月 12 日(金) 13:00~17:00

場所: 機械振興会館 B3-2 会議室

議案: 1. 2022 年度事業報告

2. 2022 年度決算報告および監査報告

3. 2023 年度新役員選出

4. 2023 年度事業計画案

5. 2023 年度予算案

・各担当から説明があり、審議の結果、それぞれ提案通り承認された。

記念講演会

講演: 「短期大学図書館とアドボカシー」

講師: 常世田良氏(日本図書館研究会理事・元立命館大学教授)

見学: 機械振興協会経済研究所 BIC ライブラリ

4) 研究誌『短期大学図書館研究』第 43 号の刊行(2024 年 3 月)

木村修一理事(北海道武蔵女子短期大学)が担当した。

5) 広報(Web 公開)

「会報」No. 78 の作成(2023 年 5 月)前川和子理事(元大手前大学)が担当した。

・ホームページ・メーリングリストの改訂とサイト保守・運用委託契約

・委託先: エックスアマウント合同会社

・『図書館年鑑』本協議会分の原稿を作成

6) 本部役員会 全 7 回開催(関東甲信越地区幹事会との合同開催)

※ Web 会議(Zoom ミーティング)とした。

議題 2. 2023(令和 5)年度決算報告および監査報告

本部会計の石田孝夫氏(前カリタス女子短期大学図書館)より、総会議案書に基づいて 2023(令和 5)年度決算報告があった。また、2023 年度は「全国研修会」が開催されたため、決算報告が「二本立て」となっている旨説明があった。その後、監査人の今井智子氏(文

化学園大学図書館)から「監査を行った結果、適正に処理されている」との報告があった。
※議長より議題 1、議題 2 について一括審議の提案があり、承認された。

議題 3. 2024 (令和 6) 年度新役員選出
総会議案書案にて承認された。

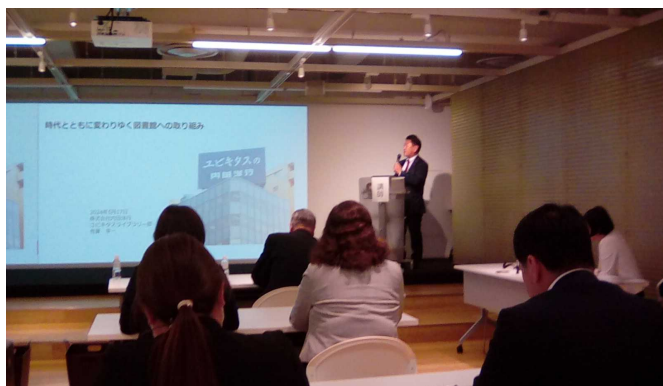
議題 4. 2024 (令和 6) 年度事業計画案
本部事務局の林浩次氏より、総会議案書に基づいて説明があった。

1) 会勢 98 館(2024 年 4 月 1 日現在)
北海道地区 7 館、東北地区 13 館、関東甲信越地区 41 館、東海・北陸地区 10 館、
近畿地区 10 館、中国・四国地区 2 館(休会)、九州地区 15 館

2) 全国理事会
日時: 2024 年 5 月 16 日(木) 14:00~17:00
会場: 林野会館
議題: ① 2023 年度事業報告について
② 2023 年度決算報告および監査報告について
③ 2024 年度新役員の選出について
④ 2024 年度事業計画について
⑤ 2024 年度予算案について
⑥ その他

3) 2024 (令和 6) 年度全国定期総会
日時: 2023 年 5 月 17 日(金) 13:00~17:00
場所: 株式会社内田洋行 新川本社
議案: ① 2023 年度事業報告
② 2023 年度決算報告および監査報告
③ 2024 年度新役員の選出
④ 2024 年度事業計画
⑤ 2024 年度予算案
⑥ その他

記念講演会: 講演:「時代とともに変わる図書館への取り組み」



講師: 有賀幸一氏(株式会社内田洋行)

見学: 株式会社内田洋行 新川本社

4) 全国研修会の対応について

2024（令和 6）年度の開催はない。

5) 研究誌『短期大学図書館研究』第 44 号の刊行

担当：木村修一理事

6) 広報

「会報」No. 79 号の作成

担当：前川和子理事

・ホームページ・メーリングリストの改訂とサイト保守・運用委託契約

委託先：エクスマウント合同会社

バナー広告

・『図書館年鑑』本協議会分の原稿作成

7) その他

特になし

議題 5. 2024（令和 6）年度予算案

本部会計石田孝夫氏より、総会議案書に基づいて説明があった。その後、齊藤会長より 2023 年度全国研修会の予算残金 285,574 円について、「全国研修会の予算は関東甲信越地区からの拠出金も含まれているが、これまでの慣例に従い残金については関東甲信越地区には戻さず、全国研修会の予算として本部で積み立てることとする。なお、この件については、午前中の関東甲信越地区総会で承認されている」旨の補足説明があった。

東海・北陸地区の大野照文理事より、この 285,574 円の半分を拠出した関東甲信越地区に戻さない理由について質問があり、齊藤会長から「関東甲信越地区から半分は全国研修会の予算の積み立てとすることを前提に、半分を本部予算の予備費に充当することについて承諾を得ている」旨の回答があった。

※議長より議題 4、議題 5 について一括審議の提案があり、承認された。

議題 6. その他

齊藤会長より、加盟館の減少、本部の予備費も厳しくなる中、私短図協の運営の見直しが必要と問題提起があった。プロジェクトチームを結成し、「たたき台」を作りたい。全国理事会を臨時に開催し、「たたき台」を共有、改革案を作成する。2025 年度から改革に乗り出したいと提案があった。

東海・北陸地区の大野照文理事より、「非常に良い提案。規約を見ると「事業」の部分で争点となっている。第 4 条の目指すところを厳しい予算の中でも実行できる「改革案」を作る取り組みを進めていただくとありがたい」旨の発言があった。

+++++

【3】事務局報告

▼▽2024（令和 6）年度 全国理事会開催報告▼▽

日時：2024 年 5 月 16 日（木） 14:00～17:00

場所：林野会館 603 会議室

出席者：16 名（敬称略）

【本部】

会 長	齊藤 誠一（千葉経済大学短期大学部）
常任理事（会報担当）	前川 和子（元前大手前大学）
理 事（研究誌担当）	木村修一（北海道武蔵女子大学・北海道武蔵女子短期大学）
事 務 局	林 浩次（元聖徳大学川並弘昭記念図書館）
会 計	石田 孝夫（元カリタス女子短期大学）
広 報	高野 聡（新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部図書館）
会計監査	今井 智子（文化学園大学図書館）
名誉会長	毛利 和弘（近畿大学）

以上 8 名

【地区】

[北海道]	柳橋 望（北海道武蔵女子大学・北海道武蔵女子短期大学付属図書館）
[東北]	相場春香（柴田学園大学短期大学部附属図書館）
[関東甲信越]	叶多 泰彦、渡邊 直子（千葉経済大学短期大学部 千葉経済大学総合図書館）
[東海・北陸]	大野照文、西尾綾（高田短期大学付属図書館）
[近畿]	桑田 祐作（大阪芸術大短期大学部図書館）
[九州]	河野 洋子、竹下 真由美（香蘭女子短期大学図書館）

以上 9 名

司会：齊藤会長

配付資料：①議事次第、役員名簿、出席者名簿

②各地区報告書、通信等

③全国総会資料

1. 会長あいさつ

理事会の開催にあたって、齊藤会長より挨拶をされた。

2. 報告とお願い

齊藤会長より、①研究誌「短期大学図書館研究」について、各地区の研修会での講演、事例報告、またはアンケート調査を行った際には、ぜひ論稿化してほしい、というお願いをされた。また、②本協議会の加盟館が減る中であって、広告収入にあたる賛助会員（団体）が少なくなって厳しい状況にある。各地区の図書館との関係がある企業に広告を掲載していただける賛助会員（団体）の勧誘をお願いしたい。

3. 自己紹介

出席者 16 名の自己紹介があった。

4. 各地区事業報告

北海道地区から順に昨年度の地区事業報告及び決算報告、本年度の会勢と事業計画案及び予算案が報告された。

理事館については、北海道地区と関東甲信越地区以外の地区は輪番制を採用しているが、これ

について苦慮している。これらの地区は加盟館が減少し、一人職場や専任職員がいないため、総会への出席が困難になっている。このような現状のなか、四年制大学を持つ学校法人が協議会運営に携わっていかなければならない。

一方、四年制大学は私立大学図書館協会に加盟しているため、私立短期大学図書館協議会を退会している。これにより地区協議会の運営が一段と厳しくなっている。四年制大学がない短期大学のみの学校法人は私立短期大学図書館協議会しかないため、地区として休会が難しく、休会になると会費の問題が生じる。近畿地区はこのような状況に直面している。

このように加盟館の減少が問題となり、輪番制の実施も難しい状況もあって、本協議会の運営に関しては、早急な対応が必要であると、齊藤会長から発言があった。

5. 総会について

事業報告、決算・監査報告、新役員案、事業計画、予算案の確認を行った。

(1) 総会議長について

総会の議長は理事会メンバーから選出するのが恒例になっていることから、齊藤会長より本部事務局案として香蘭女子短期大学図書館の河野洋子氏の推薦があった。協議の結果、議長は河野洋子氏にお願いすることになった。

(2) 事業報告、決算、監査報告

事務局の林氏より 2023 年度の事業報告の後、会計担当の石田氏から決算報告があった。監査報告は監査人の今井氏から報告があった。

(3) 新役員の選出について

事務局の林氏より 2024 年度私立短期大学図書館協議会役員名簿（案）が示され、東北地区、東海・北陸地区の理事館が交代されたことの報告があった。その他役員については、2024 年度私立短期大学図書館協議会役員名簿案のとおり、了承された。

(4) 事業計画、予算

事務局の林氏より 2024 年度事業計画案の確認の後、会計担当の石田氏から予算案について説明があった。

6. 全国研修会（2025 年度実施）について

7. 地区情報交換会

(1) 齊藤会長から以下の３点について説明と提案がなされ、了承された。

ア. 全国研修会の残金について

昨年度の全国研修会の残金は、関東甲信越地区と本部が拠出しているので、本来的には残金は折半している状況である。しかし、残金は、以前から拠出金という形で、本部会計の繰越金としていた。今年度もこのような形で本部会計に繰越金として決算することを関東甲信越地区通常総会で提案したい。

イ. 私立短期大学図書館協議会の改革について

私立短期大学図書館協議会の課題として、交付金、補助金の見直し等がある。これらの課題に対して、協議会の改革案をまとめて、たとえば、地区はどうするのか、会計に関しても交付金、補助金をどうするのか、これらの課題を含めてプロジェクトチームを作り検討したいと考えてる。このプロジェクトチームでたたき台をつくり、そのうえで Zoom を使って臨時的全国理事会を開きたいとの考えを示した。さらに、検討された改革原案を今年度中に臨時的全国総会を開いて改革を進めていくことを提案したい。

ウ. 研修会について

今年度は全国研修会を開催しない年で、関東甲信越地区協議会の研修会を全国に公開してオンライン開催したいとの考えを示した。研修会の内容は、生成 AI に関係するものにしたい。

- (2) 前川理事から全国の会報については、地区協議会の担当者が、毎年 4 月から翌年 3 月までの活動を原稿化して頂いている。地区によっては担当者が当年で交代されて、新しく担当された方が原稿を作成する。原稿依頼する時期によって、原稿作成が難しくなっている。このように会報の論稿化する時期や担当者を見直して、次年度の担当者に代わって前年度の担当者が作成するのが一番良いのではないかという提案をされたが、この事については、今後も引き続き検討することになった。
- (3) 近畿地区の桑田氏から地区の資料保存方法について、近畿地区は、紙媒体の地区資料を役員館が持ち回りで保存している。近畿地区の幹事会で WEB サイトを使ったクラウドを活用した保存方法を取り入れたらどうかという意見があった。そうすると、私立短期大学図書館協議会の資料として扱うことになるので、それが可能かどうかお聞きしたい。現在、近畿地区が考えているのは紙媒体の資料をデジタル化して CD-ROM 化することである。いっぽう、関東甲信越協議会と本部の合同幹事会では研修会の資料や報告は研究誌や会報に掲載されるので、5 年間保存としているという報告があった。このような文書管理については、今後の課題として検討することになった。

▼▼本部役員会（関東甲信越地区幹事会との同時開催）▼▼

- 第 1 回 2024. 5. 17（金）株式会社内田洋行 新川本社
第 2 回 2024. 7. 26（金）Web 会議（Zoom）
第 3 回 2024. 9. 20（金）Web 会議（Zoom）
第 4 回 2024. 12. 6（金）Web 会議（Zoom）
第 5 回 2025. 1. 21（金）Web 会議（Zoom）
第 6 回 2025. 3. 21（金）Web 会議（Zoom）
第 7 回 2025. 4. 25（金）Web 会議（Zoom）

※Web 会議（Zoom ミーティング）とした。

+++++

【4】地区活動報告

<北海道地区>

▼▼2024年度事業報告▼▼

1. 会勢（2024 年 4 月 1 日現在） 7 館
○入会館： 0
○退会館： 0
2. 2024 年度第 1 回役員会
○期間：2024 年 4 月 26 日（金）
○出席：4 館（6 名）
○議事：
 - 1) 2024 年度総会の議題について
 - 2) その他
3. 2024 年度総会

- 期間：2024 年 4 月 26 日（金）
- 出席：4 館（5 名）、委任状 3 館
- 議事：
 - 1）2023 年度事業報告
 - 2）2023 年度決算報告および監査報告
 - 3）2024 年度事業計画案
 - 4）2024 年度予算案
 - 5）その他

4. 2024 年度第 1 回北海道図書館連絡会議兼第 64 回（2024 年度）北海道図書館大会運営委員会（第 4 回）会議出席

- 期間：2024 年 6 月 25 日（火）
- 議事：第 64 回（2024 年度）北海道図書館大会の開催要項確認

5. 第 64 回北海道図書館大会

- 期間：2024 年 9 月 12 日（木）～13 日（金）
- 内容：プログラム②「生成 AI と情報の行方」（大平剛氏（帯広大谷短期大学地域共生学科教授）の企画・運営を担当

6. 北海道地区協議会 2024 年度研修会開催

- 日時：2024 年 9 月 14 日（土）
- 出席館：4 館 11 名
- 内容：利用者と共に作る図書館～司書がはぐくむ活動の場～
- 講師：成田康子氏

7. 2024 年度第 2 回北海道図書館連絡会議兼第 65 回（2025 年度）北海道図書館大会運営委員会（第 1 回）会議出席

- 日時：2024 年 12 月 4 日（水）
- 議事：第 64 回（2024 年度）北海道図書館大会の実施状況報告、第 65 回（2025 年度）大会構成・開催方法の検討

8. 2024 年度第 2 回役員会（メール会議）

- 期間：2024 年 12 月 24 日（火）
- 出席：4 館（4 名）
- 議事：北海道図書館大会実施状況報告、第 65 回（2025 年度）北海道図書館大会テーマ・基調講演講師案募集

9. 2024 年度第 3 回北海道図書館連絡会議兼第 65 回（2024 年度）北海道図書館大会運営委員会（第 2 回）会議出席

- 日時：2025 年 2 月 13 日（木）
- 議事：第 65 回（2025 年度）北海道図書館大会テーマ・基調講演講師選定、開催要項の検討

10. 「北海道地区協議会通信」No. 46（2025 年 3 月 31 日）発行

+++++

<東北地区>

▼▽2024年度事業報告▽▼

1. 会勢 (2024年4月1日現在) 13館

○入会館:0

○退会館:0

2. 2024年度東北地区協議会 総会(書面審議)

○期間:2024年4月22日~5月24日

○議事:

1) 2023年度事業報告

2) 2023年度決算報告・監査報告

3) 2024年度事業計画案

4) 2024年度予算案

5) 照合事項

3. 2024年度研修会

○開催日:2024年9月13日(金)13:00~15:30

○テーマ:絵本に魅了されて~みなさんと楽しくワークショップ~

講師 高嶋 敬子 氏(JPIC読書アドバイザー)

○開催地:柴田学園大学短期大学部

○参加者:5館(8名)

<関東甲信越地区>

▼▽2024年度事業報告▽▼

1. 会勢 (2024年4月1日現在) 41館

○入会館1

上野学園図書館

○退会館2

実践女子大学・実践女子大学短期大学部図書館

上田女子短期大学附属図書館

○館名変更1

敬愛大学・敬愛短期大学 メディアセンター

2. 2024年度通常総会

○日時:2024年5月17日(金)

会場:株式会社内田洋行(内田洋行新川本社ビル)

参加:32館(出席館8館、委任状24館)

○議事:

1) 2023年度事業報告

2) 2023年度決算報告・監査報告

3) 2024年度幹事校

- 4) 2024 年度事業計画案審議
 - 5) 2024 年度予算案審議
 - 6) その他 2023 年度全国研修会拠出金の残金について
3. 2024 年度第 1 回合同幹事会
- 日時：2024 年 5 月 17 日（金）12：00～12：30
 - 出席：10 館（11 名）
 - 議事：
 - 1) 2024 年度全国総会について
4. 2024 年度第 2 回合同幹事会（Web 会議（Zoom））
- 日時：2024 年 7 月 26 日（金）14：00～16：00
 - 出席：8 館（9 名）
 - 議事：
 - 1) 関東甲信越地区協議会通常総会の報告について
 - 2) ホームページについて
 - 3) 今年度の会費の徴収について
 - 4) 関東甲信越地区研修会について
 - 5) 未加盟館勧誘文書発送について
5. 2024 年度第 3 回合同幹事会（Web 会議（Zoom））
- 日時：2024 年 9 月 20 日（金）14：00～15：30
 - 出席：7 館（9 名）
 - 議事：
 - 1) 今年度の会費の徴収について
 - 2) 私立短期大学図書館協議会改革提案 PT について
 - 3) 2024 年度関東甲信越地区研修会について
6. 2024 年度第 4 回合同幹事会（Web 会議（Zoom））
- 日時：2024 年 12 月 6 日（金）14：00～16：00
 - 出席：8 館（9 名）
 - 議事：
 - 1) 今年度の会費徴収について
 - 2) 私立短期大学図書館協議会改革提案 PT について
 - 3) 2024 年度関東甲信越地区研修会について
7. 2024 年度第 5 回合同幹事会（Web 会議（Zoom））
- 日時：2025 年 1 月 21 日（火）14：00～16：00
 - 出席：9 館（10 名）
 - 議事：
 - 1) 図書館年鑑 2025 年版報告原稿について
 - 2) 私立短期大学図書館協議会改革提案 PT について
 - 3) 2024 年度関東甲信越地区研修会について
 - 4) 2025 年度理事会、総会、地区総会、講演会について
 - 5) 2025 年度本部予算・地区予算の編成について

8. 2024 年度第 6 回合同幹事会 (Web 会議 (Zoom))

○日時：2025 年 3 月 21 日 (金) 14 : 00～16 : 30

○出席：9 館 (12 名)

○議事：

- 1) 入退会館状況について
- 2) 関東甲信越地区協議会会報第 64 号について
- 3) 2024 年度関東甲信越地区研修会について
- 4) 2025 年度関東甲信越地区総会について
- 5) 関東甲信越地区 2024 年度決算報告・2025 年度予算編成について

9. 『関東甲信越地区協議会会報』64 号 (2025 年 3 月発行)

10. 2024 年度関東甲信越地区協議会研修会について

○全国の加盟館に参加を呼びかけ開催した。

- 1) 日時：2025 年 2 月 4 日 (火) 14 : 00～16 : 00
- 2) 開催形式：Zoom によるリモート形式
- 3) 参加：25 館 37 名 (内、関東甲信越地区加盟館 17 館 22 名)
- 4) テーマ「実践生成 AI：図書館業務に活かす Chat GPT リテラシー」
講師：飯野 由美子氏 (敬愛大学経済学部教授)

＜東海・北陸地区＞

▼▽2024 年度事業報告▼▽

1. 会勢 (2024 年 4 月 1 日現在) 10 館

2. 2024 年度第 1 回幹事会 (WEB 会議)

○期間：2024 年 6 月 7 日 (金) 15:00～16:00

○出席：3 館

○議事：

- 1) 役員交替について
- 2) 2023 (令和 5) 年度事業報告について
- 3) 2023 (令和 5) 年度決算報告および監査報告について
- 4) 2024 (令和 6) 年度事業計画案について
- 5) 2024 (令和 6) 年度予算案について
- 6) 会長校・地区幹事校の輪番について
- 7) 2024 (令和 6) 年度総大会の実施について
- 8) その他

3. 2024 年度総会・研修会

(1) 総会 高田短期大学付属図書館

○期間：2024 年 9 月 6 日 (金) 13 : 00～17 : 00

○出席：8 館、欠席：2 館

○議事：

- 1) 報告事項

- ・ 2024（令和 6）年度会勢報告
- ・ 2024（令和 6）年度役員紹介
- ・ 2023（令和 5）年度事業報告について
- ・ 2023（令和 5）年度決算報告および監査報告について

2）審議事項

- ・ 2024（令和 6）年度事業計画案について
- ・ 2024（令和 6）年度予算案について
- ・ 会長校、地区幹事校の輪番について
- ・ 2025（令和 7）年度役員の確認
- ・ その他

（2）研修会

1）講演

テーマ：「京都府立図書館の挑戦」

講 師：丸川 修 氏（京都府立図書館元館長）

2）見学

真宗高田派本山専修寺

4. 2024 年度第 2 回幹事会（メール会議）

○期間：2025 年 3 月 10 日（月）～3 月 14 日（金）

○出席：3 館

○議事：

- 1）2024（令和 6）年度事業報告について
- 2）2024（令和 6）年度決算報告について
- 3）2025（令和 7）年度会長校・地区幹事校について
- 4）その他

+++++

東海・北陸地区協議会では、2024 年度も総会、研修会を対面で行った。総会では議事後、富山短期大学付属図書館より能登半島地震の復旧作業経過報告をいただいた。研修会の内容は、講演「京都府立図書館の挑戦」（講師：京都府立図書館元館長 丸川修氏、場所：高田短期大学付属図書館）と見学（場所：真宗高田派本山専修寺）で、全 10 館に対して 8 館 16 人の参加であった。研修会の後は意見交換会を開催した。図書館における取り組みの可能性や資料保存と展示について学び、参加者間で情報共有し意見を交換する有意義な時間となった。

+++++

<近畿地区>

▼▽2024 年度事業報告▽▼

1. 会勢 加盟館数（2024 年 4 月 1 日現在）10 館、中国・四国地区 2 館（オブザーバー）

○入会館 0 館

○退会館 3 館（すべて近畿地区、いずれも 2025 年 3 月 31 日付）

大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部図書館

頌栄短期大学図書館
常磐会学園図書館

2. 2024 年度 活動報告

(1) 総会

- 日 時：2024 年 4 月 25 日（木）14：00-14：45
- 場 所：大阪芸術大学スカイキャンパス〈大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 あべのハルカス 24 階〉（対面による開催）
- 出席館：7 館（オブザーバー1 館を含む 8 名（ただし、個人賛助会員 2 名を除く））
- 欠席館：5 館（オブザーバー1 館を含む、オブザーバー館を除く 4 館すべて委任状提出済）
- 議 題：1）会務報告について
- 2）2023 年度活動報告について
- 3）2023 年度決算報告および監査報告について
- 4）2024 年度役員館選出について
- 5）2024 年度活動計画について
- 6）2024 年度予算について

(2) 研修会

第 1 回

- 日 時：2024 年 4 月 25 日（木）15：00-17：00
- 場 所：大阪芸術大学スカイキャンパス〈同上〉（対面による開催）
- 内 容：「短期大学図書館の必要性と可能性を考える」
- 講 師：多賀谷 津也子 氏
（元大阪芸術大学図書館、元大阪芸術大学短期大学部図書館）
- 参加者：10 名（オブザーバー館を含む 7 館より、ほか個人賛助会員 2 名を含む）

第 2 回

- 日 時：2024 年 9 月 13 日（金）14：00-16：00
- 場 所：滋賀文教短期大学 松翠館 3 階 大講義室〈滋賀県長浜市田村町 335〉
（対面およびリモートによる開催）
- 内 容：「短期大学図書館の読書バリアフリー：環境づくりとサービスのポイント」
- 講 師：野口 武悟 氏（専修大学文学部教授）
- 参加者：33 名（24 館ほかより、対面 5 館ほか 8 名、リモート 20 館ほか 25 名、
うち近畿地区 対面 5 館 7 名、リモート 3 館ほか 5 名）

(3) 幹事会

第 1 回

- 日 時：2024 年 5 月 21 日（火）リモートによるオンライン会議
- 議 題：新旧役員館の各担当業務引継ぎ連絡について、第 2 回研修会の開催について、
その他（全国理事会の報告など）

第 2 回

- 日 時：2024 年 11 月 12 日（火）リモートによるオンライン会議
- 議 題：次年度総会の開催について、次年度第 1 回研修会の開催について、
次年度役員館について、その他

その他

○日 時：2025 年 4 月 7 日（月）～24 日（木）メールによる随時打ち合わせ

○内 容：2025 年度総会および第 1 回研修会についてほか

＜中国・四国地区＞ 休会

＜九州地区＞

▼▽2024 年度事業報告▽▼

1. 会勢（2024 年 4 月 1 日現在） 15 館
2. 2024（令和 6）年度九州地区私立短期大学図書館協議会総会
○日時：2024 年 4 月「書面会議」
○議事
 - 1) 2023（令和 5）年度事業報告・決算報告および監査報告
 - 2) 2024（令和 6）年度事業計画・予算(案)
 - 3) 2024（令和 6）年度役員館について
○承合事項
 - ・電子書籍・雑誌の導入に関して
3. 2024（令和 6）年度九州地区私立短期大学図書館協議会臨時総会および夏期研修会
○日時：2023 年 8 月 30 日(金) 13：30～16：30（台風接近のため中止）
○場所：香蘭女子短期大学
 - 1) 臨時総会 全国理事会報告・各地区の状況報告
 - 2) 夏期研修会 テーマ：「短大図書館の現状と課題解決について 2」
展示方法や配架方法について（情報交換）
※中止となり、代替措置として資料を配布した
4. 九州地区協議会加盟館名簿の作成（担当：福岡こども短期大学図書館）
5. 「ニューズレター」第 47 号（2025 年 2 月）発行（担当：精華女子短期大学附属図書館）

【5】私立短期大学図書館協議会の運営に対する改革提案プロジェクト 報告
：運営に対する改革プロジェクトの始動と方向性

改革提案プロジェクトチーム

近年多くの私立短期大学は、四年制大学に吸収され、入学定員の確保が困難となってやむなく廃止という現状にある。当協議会も 2024 年度の会勢は、加盟館が 98 館と 100 館を下回る状況になっ

た。(日本私立短期大学協会もかつて 500 校を超えていたが、2024 年度は 273 校と半減に近い状況である。)

本協議会は、北海道地区、東北地区、関東甲信越地区、東海・北陸地区、近畿地区、中国・四国地区(休会中)、そして九州地区と、各地区協議会が独立した活動を展開し、本部事務局が支え・調整している。しかし、現本部事務局体制は、短期大学図書館を退職した人たちによる運営に頼らざるを得なくなり、正常な組織体制とはいえない状況と考える。

加盟館の減少は、本部会計にも大きな影響を及ぼしている。

以上のような状況を踏まえ本協議会としては、2024 年度総会で「私立短期大学図書館協議会の運営に対する改革提案プロジェクト」を設置することを決めた。

1 改革提案プロジェクトチーム(以下、「改革提案 PT」)の設置及び運営について

会長の下に「改革提案 PT」を設置し、メンバーを指名して、改革提案をまとめてきた。

(1) 会議方法は、Zoom で行った。

(2) 会議は、7 月から行い、審議を続けてきた。

第 1 回会議	7 月 4 日(木)	現状分析と今後の進め方、及び改革事項の洗い出し
第 2 回会議	7 月 22 日(月)	改革事項の「たたき台」提示及び検討
第 3 回会議	8 月 19 日(月)	改革事項の検討、及び具体的な骨子案の検討
第 4 回会議	9 月 19 日(木)	アンケート調査の検討
第 5 回会議	10 月 21 日(月)	アンケートの分析
第 6 回会議	12 月 3 日(火)	アンケート調査のまとめ及び改革案報告書の検討
第 7 回会議	12 月 23 日(月)	最終報告の内容の検討、方向性の確認
第 8 回会議	2025 年 1 月 15 日(水)	最終報告の内容の検討
第 9 回会議	2 月 27 日(木)	地区協議会説明会の日程調整及び内容の検討

(3) 改革提案 PT の構成員(五十音順)

- ・ 齊藤 誠一(会長)
- ・ 佐藤 有妃(佐久大学図書館)
- ・ 高野 聡(新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部図書館)
- ・ 橘 みちほ(元神戸女子大学・神戸女子短期大学図書館、賛助会員)
- ・ 前川和子(常任理事)
- ・ 柳橋 望(北海道武蔵女子短期大学図書館)
- ・ 渡邊 直子(千葉経済大学総合図書館)

※座長は、常任理事である前川和子氏が担当。

(4) 各地区理事校に「改革案」の説明

上記検討を重ねた「改革案」を、会長を中心として各地区理事校に 2024 年度内に説明を行った。

- 東海・北陸地区 2 月 5 日(水)
- 近畿地区 2 月 28 日(金)
- 九州地区 3 月 6 日(木)
- 東北地区 3 月 10 日(月)
- 関東甲信越地区 3 月 24 日(月)―28 日(金)
- 北海道地区 5 月 7 日(水)
- 中国・四国地区 5 月 21 日(水)

2 改革の方向性

(1) 改革の前提として

改革を行う上で以下の3点を前提に検討を行った。

- ア 現状でもうまく活動が続けている地区協議会がある。その地区に大きな影響を与えないようにする。
- イ ICTをうまく活用していく（Zoomの活用やHPの活用など・・・）。
- ウ 本協議会に加入していることのメリット（研修・情報交換・運営アドバイス・人脈作り等）を維持していく。

(2) 検討項目

- ア 地区協議会のあり方・活動について
- イ 地区理事・幹事について
- ウ 本部の業務・役員会について
- エ 会長について
- オ 理事会について
- カ 総会について
- キ 全国研修会について
- ク 研究誌・会報について
- ケ ホームページについて
- コ 財政について
- サ その他

3 具体的な改革提案

地区活動を維持することを前提にしながら、その役割を整理することで各地区の負担をできるだけ減らし、同時に執行体制の再構築を図ることで課題に対応していきたい。具体的には、次のとおりである。

(1) 本協議会の執行体制について

- ア 現在の役員会（本部理事と関東甲信越地区の理事で構成）を廃止し、各地区から選出された理事館で全国理事会（以下、「新理事会」という。）を組織する。その「新理事会」が本協議会の執行を行う。なお、新理事会の元に「運営会議」を設置し具体的な企画・運営を行う。
- イ 新理事会を構成する各地区の理事館からは、図書館の館長と図書館職員が理事として参加する。
- ウ 各地区の理事館の選出数は、おおよそ地区の構成館の数によって配分を決定する。
- エ 「運営会議」は理事館の図書館職員で構成する。
- オ 「新理事会」は、従前の「全国理事会」と同様に年1回行い、その元にある「運営会議」は年4回のオンライン会議等で行う。
- カ 現在の本部体制は廃止するが、移行措置として当面の間は現状の本部理事がサポートし、事務局も当面は現状どおりとしながら「新理事会」を支える。
- キ 会長は、新理事会の互選で決定するが、当面の間、現在の会長が継続して対応する。なお、会長については、新理事会の互選を基本とするが、理事から適任者を推薦してもらい、推薦された本人の承諾を得て決定することも可とする。
- ク 理事館は各地区の中で決め（例えば輪番制とし）、任期は2年とする。ただし、免除規定を設け、雇用形態により引き受けられない館等については理事の就任を免除することを可能とする。今回の改革提案では、理事の業務をマニュアル化して、一人職場でも対応できる内容とすることを提案する。
- ケ 定期総会を年一回行う（規約のとおり）。総会はオンラインでの開催も可能とし、必要に応じて臨時総会を行う。

(2) 地区協議会の運営について

- ア 地区割りは、6地区（中国・四国地区を近畿地区に統合）に変更する。
- イ 「地区協議会」の規約を廃止し、本協議会の規約に一本化する。それによって「地区協議会」という組織的な縛りを解消する。また現在の地区協議会を緩やかな執行・運営を行う「地区グ

ループ」とする。つまり、本協議会という全国組織に一本化しながら、理事を選出する母体と同時に活動の主体として「地区グループ」を捉える。

ウ 各地区グループでは、加盟する図書館数に応じた数の理事館を選出する。それ以外の年間の行事などは、グループ内の話し合いで決定し、「全国理事会」で確認を得る。

エ 理事の業務内容及び地区グループが行う取り組み内容を整理し、マニュアル化して負担軽減を図る。

オ 現状で使用しているメーリングリストは、そのまま継続して使用する。

(3) 財政・会計処理について

ア 会計処理については、本部に一本化し外部委託（民間の会計会社等）を検討する（以下、「本部会計」という）。外部委託をする場合も新理事会の中に会計担当、監査を設け、執行状況等の把握・監査を行う。

イ 会費については現状のままの金額とするが、その徴収は本部会計で行う。

ウ 地区交付金・助成金は廃止する。

エ 現在、地区が管理している資金については、本部会計に集約する。

オ 各地区グループに対して、会員数に合わせた年間予算を配分し活動費にあてる。地区活動にかかる支出については、支出報告書の書式を作成し、それに基づいて本部会計が支払いを行う。

(4) 研修会について

短大図書館職員の資質の向上は、本協議会の最大の使命の一つであり、その維持に努める。

(5) 研究誌・会報について

ア 研究誌については、会員の資質向上・知識や技術の継承という点から不可欠であると考える。

2025年度は冊子体の発行を行うが、電子ジャーナルを含めた検討を行う。

イ 会報については、全国会報のみとして、地区での会報の発行は地区グループに任せる。

(6) ホームページについて

現行どおり、民間業者に委託して維持・管理を行うが、委託料が削減できるようページのスリム化・業者変更も視野に検討する。ホームページ担当理事を設け、業者との折衝にあたる。

(7) 情報交流の仕組み

加盟館相互の情報交流を促す。困った時に相談できる場を求める会員の意見は多い。従来通り地区グループ内の会員交流に留意していくと共に、より広範に対応できる仕組み作りも求められている。

また、Zoomなどの会議システムを使って、定期的に、会長や理事が待機する時間を設け、加盟館の職員は自由に参加し、相談や情報交換が行える場を設ける案なども出てきている。

今後、さまざまな情報交流の仕組みを新理事会の中で考えていきたい。

(8) 今後について

地区協議会の負担軽減を考えてきたが、加盟館が応分の負担をしなければ本協議会の維持は難しいことも事実である。軽減できることは提案してきたが、「応分の負担」を許容できるかが改革のポイントになる。

以上

【5】編集後記 会報第 80 号をお届け致します。

- ・ 当会報は、機関誌『短期大学図書館研究』と共に、当協議会の重要な会員交流の場と位置付けられています。
- ・ 特に会報は、当協議会の記録としての位置づけになっています。例年の協議会活動の記録と共に、第 80 号は当協議会の改革に取り組んだ記録を掲載しました。齊藤会長のもとで、昨年 7 月から 9 ヶ月にわたる改革提案プロジェクトチームの議論と方向性についての記録を掲載しました。当協議会の緊切な問題を議論していますので、会員の共通問題としてお読み頂き、2026 年度実施までに会員の皆様と共にまとめ上げたいと願っています。
- ・ COVID-19 を経て（現在は共存）、社会や教育は大きな変化を経験したといえます。その中での短期大学と短期大学図書館はどう対応していくかも、忘れてはならない重要な課題といえます。
- ・ 会報 80 号が無事発行できましたのは、地区理事の皆様、本部事務局、そして会長のご協力のおかげです。皆さまのご協力に、心より感謝申し上げます。（前川）

私立短期大学図書館協議会 会報 第 80 号

2025. 5 発行

※バックナンバー <https://shitantokyo.org/bulletin/>

※メールマガジンへのご意見・お問い合わせは、編集前川まで

+++++
発 行：私立短期大学図書館協議会 <http://shitantokyo.org/> 会長 齋藤誠一

本部事務局 〒263-0021 千葉県稲毛区轟町 3-59-5 千葉経済大学総合図書館

Tel. 043-253-9941

会報編集：前川和子 (maekwkz@gmail.com)

----- No. 80 end -----